

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フェヴリナ

コード番号 3726 URL <http://www.favorina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 英樹

問合せ先責任者 (役職名) AFD S.Manager

(氏名) 堀川 大輔

TEL 092-720-5420

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,292	181.4	99	125.0	100	122.2	58	△90.4
21年3月期第2四半期	459	—	44	—	45	—	607	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	16.82	—
21年3月期第2四半期	1,324.68	1,322.09

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,496	1,307	85.6	2,727.36
21年3月期	1,495	1,246	81.8	2,602.60

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,281百万円 21年3月期 1,222百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,622	35.4	155	10.7	156	9.0	109	△85.2	232.02

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表 4. その他 をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	469,866株	21年3月期	469,866株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	83株	21年3月期	83株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	469,783株	21年3月期第2四半期	469,783株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、急激な円高シフトによるバリュエーションが修正されるなか、景気動向指数は景気基調の下げ止まりを示唆しているものの、依然として先行指数の鈍りが工業製品へのスタフレ警戒感を促し、経済全体の回復を鈍化させる状態となりました。

当社もそれらの影響を少なからず受けており、特に当社が属しております化粧品通販業界は、スキンケアに対する関心の高まりもあり、インターネット販売を中心に拡大しているものの、異業種からのOEM進出、受託販売進出等による新規参入が際立ち、それにとまなう商品全体の低価格化、ブランド価値の差別化と絶対顧客数の確保の困難化等により、熾烈な競争下にあります。

そのような環境下におきまして当社は引き続き、新規顧客層の拡大と既存顧客層の確保を基礎に、インフォーマーシャルの仕様変更・コスト削減への施策と当社NANO ACQUAを代表するブランド価値の確立に注力し、外部環境への対応に努めてまいりました。

まず、新規顧客層の拡大に関しましては、新たなインフォーマーシャルの製作と有効な放送枠への集中化、各種情報誌・インターネット等のメディアを通じたプロモーション活動を行いました。予想を超える消費マインドの冷え込みと買い控えもあり、低調に推移する結果となりました。

次に、既存顧客層の確保に関しましては、購入特典等の活用、ダイレクトメールの仕様変更と送付要領の変更を行い、顧客の購買動機を促す積極的な販促活動を行ったものの、新規販売カテゴリにおける売上高減少にとまなう差益減を吸収するに至らない結果となりました。

最後に、コスト面に関しましては、収納代行サービスを新たに採用し、代金回収費用等の間接コストの削減を実施するとともに、減収への対応策といたしまして、人件費等の準固定費および広告宣伝費の削減を実施したものの、その効果は限定的となっております。

以上の結果、当第2四半期会計期間の売上高は、602,055千円（前年同四半期比31.3%増）となりました。損益の状況につきましては、営業利益45,376千円（前年同四半期比42.7%減）、経常利益45,828千円（前年同四半期比43.0%減）、四半期純利益7,903千円（前年同四半期比98.7%減）となりました。

今後も当社は、事業基盤の強化を図るとともに、既存顧客層の購買を促進するにあたり情報分析を効率的に行えるよう改善に努め、収益性の向上に努めてまいります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は1,496,054千円(前事業年度末1,495,425千円)、その内訳は流動資産1,406,530千円、固定資産89,523千円となり、前事業年度末に比べ629千円増加いたしました。これは主に販売活動による現金及び預金が増加したものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は188,386千円(前事業年度末248,494千円)となり、前事業年度末に比べ60,107千円減少いたしました。これは主に買掛金の減少等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,307,667千円(前事業年度末1,246,931千円)となり、前事業年度末に比べ60,736千円増加いたしました。これは主に四半期純利益として58,607千円を計上したことによります。

(2) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,013,905千円となり、前第2四半期会計期間末に比べ238,344千円増加いたしました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、38,861千円（前年同四半期比51,167千円増）となりました。これは主として、税引前四半期純利益46,546千円の計上のほか、資金収入といたしまして、たな卸資産の減少41,398千円、法人税等の還付額15,413千円によるものであります。また、資金支出といたしまして、仕入債務の減少33,753千円、その他流動負債の減少35,447千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用された資金は、47,047千円（前年同四半期比47,197千円減）となりました。これは主として本店移転にともなう差入保証金の差入による資金支出47,206千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用された資金は234千円（前年同四半期比234千円減）となりました。これはリース債務の返済による資金支出234千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月14日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正し、平成21年10月29日に開示いたしました。

平成22年3月期通期の業績予想修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	2,940	257	258	255
今回発表予想（B）	2,622	155	156	109
増減額（B－A）	△318	△102	△102	△146
増減率（％）	△10.8	△39.7	△39.5	△57.3
（ご参考）平成21年3月期	1,936	140	143	741
※同連結会計期間	2,724	231	235	304

※ 当社は平成20年8月1日付で連結子会社であった㈱フェヴリナ（以下、旧㈱フェヴリナ）を吸収合併しております。そのため、（ご参考）平成21年3月期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益には平成20年7月31日（合併期日の前日）までの旧㈱フェヴリナの業績が含まれておりません。このため、被合併会社である旧㈱フェヴリナと平成21年3月31日で連結していたと仮定した場合の業績を記載しております。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,013,905	938,788
受取手形及び売掛金	128,530	169,613
商品	185,349	208,743
その他	81,669	140,323
貸倒引当金	△2,924	△3,809
流動資産合計	1,406,530	1,453,658
固定資産		
有形固定資産	10,119	9,516
無形固定資産	4	8
投資その他の資産	79,399	32,242
固定資産合計	89,523	41,766
資産合計	1,496,054	1,495,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,661	57,862
未払法人税等	3,453	5,178
賞与引当金	10,100	5,255
返品調整引当金	4,464	5,890
その他	158,711	170,871
流動負債合計	185,391	245,057
固定負債		
その他	2,995	3,436
固定負債合計	2,995	3,436
負債合計	188,386	248,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
利益剰余金	399,080	340,473
自己株式	△601	△601
株主資本合計	1,281,267	1,222,660
新株予約権	26,399	24,270
純資産合計	1,307,667	1,246,931
負債純資産合計	1,496,054	1,495,425

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	459,997	1,292,654
売上原価	91,561	245,522
売上総利益	368,436	1,047,132
返品調整引当金戻入額	—	5,890
返品調整引当金繰入額	—	4,464
差引売上総利益	368,436	1,048,558
販売費及び一般管理費	324,380	948,686
営業利益	44,055	99,872
営業外収益		
受取利息	337	67
受取補償金	253	323
還付加算金	—	226
その他	654	179
営業外収益合計	1,245	796
営業外費用		
支払利息	56	142
営業外費用合計	56	142
経常利益	45,244	100,525
特別利益		
前期損益修正益	2,096	—
貸倒引当金戻入額	300	543
抱合せ株式消滅差益	512,522	—
新株予約権戻入益	—	1,076
特別利益合計	514,918	1,619
特別損失		
固定資産除却損	291	—
投資有価証券評価損	—	358
特別損失合計	291	358
税引前四半期純利益	559,871	101,787
法人税、住民税及び事業税	△10,869	1,289
法人税等調整額	△37,232	41,890
法人税等合計	△48,101	43,179
四半期純利益	607,973	58,607

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	458,497	602,055
売上原価	91,561	115,658
売上総利益	366,936	486,397
返品調整引当金戻入額	—	4,251
返品調整引当金繰入額	—	4,464
差引売上総利益	366,936	486,185
販売費及び一般管理費	287,696	440,808
営業利益	79,240	45,376
営業外収益		
受取利息	336	67
受取補償金	253	115
還付加算金	—	226
その他	654	111
営業外収益合計	1,244	520
営業外費用		
支払利息	56	69
営業外費用合計	56	69
経常利益	80,428	45,828
特別利益		
前期損益修正益	2,096	—
貸倒引当金戻入額	75	—
抱合せ株式消滅差益	512,522	—
新株予約権戻入益	—	1,076
特別利益合計	514,693	1,076
特別損失		
固定資産除却損	291	—
投資有価証券評価損	—	358
特別損失合計	291	358
税引前四半期純利益	594,830	46,546
法人税、住民税及び事業税	△1,378	666
法人税等調整額	△26,138	37,976
法人税等合計	△27,516	38,642
四半期純利益	622,346	7,903

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	559,871	101,787
減価償却費	1,466	2,777
のれん償却額	729	—
固定資産除却損	291	—
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△512,522	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	358
新株予約権戻入益	—	△1,076
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△352	△885
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	137	△1,426
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,683	4,845
受取利息及び受取配当金	△337	△67
支払利息	56	142
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,719	41,083
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,976	23,935
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,817	820
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,325	△49,200
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△59,547	△13,370
その他	9,506	3,238
小計	△46,570	112,962
利息及び配当金の受取額	337	67
利息の支払額	—	△145
法人税等の還付額	16,020	15,413
法人税等の支払額	△1,839	△1,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,051	126,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△3,376
貸付けによる支出	—	△413
貸付金の回収による収入	300	309
差入保証金の差入による支出	—	△47,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	300	△50,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△464
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△31,751	75,117
現金及び現金同等物の期首残高	315,831	938,788
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	491,481	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	775,561	1,013,905

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

当社は平成20年8月1日付で連結子会社であった㈱フェヴリナ（以下、旧㈱フェヴリナ）を吸収合併しております。そのため、前第2四半期会計期間および前第2四半期累計期間の業績には平成20年7月31日（合併期日の前日）までの旧㈱フェヴリナの業績が含まれておりません。被合併会社である旧㈱フェヴリナと平成20年9月30日で連結した場合の四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書は以下のとおりです。

(1) 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間

科目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
	金額(千円)
売上高	1,247,503
売上原価	255,175
売上総利益	992,327
販売費及び一般管理費	856,520
営業利益	135,806
営業外収益	
受取利息	337
受取補償金	437
その他	794
営業外収益合計	1,569
営業外費用	
支払利息	56
営業外費用合計	56
経常利益	137,320
特別利益	
前期損益修正益	2,096
貸倒引当金戻入額	300
償却債権取立益	150
特別利益合計	2,546
特別損失	
固定資産除却損	291
役員退職慰労金	5,000
特別損失合計	5,291
税金等調整前四半期純利益	134,575
法人税、住民税及び事業税	1,650
法人税等調整額	△38,055
法人税等合計	△36,404
四半期純利益	170,979

第2四半期連結会計期間

科目	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
	金額 (千円)
売上高	685,799
売上原価	138,116
売上総利益	547,683
販売費及び一般管理費	426,149
営業利益	121,533
営業外収益	
受取利息	336
受取補償金	273
その他	781
営業外収益合計	1,391
営業外費用	
支払利息	56
営業外費用合計	56
経常利益	122,868
特別利益	
前期損益修正益	2,096
貸倒引当金戻入額	75
特別利益合計	2,171
特別損失	
固定資産除却損	291
特別損失合計	291
税金等調整前四半期純利益	124,748
法人税、住民税及び事業税	752
法人税等調整額	△23,666
法人税等合計	△22,913
四半期純利益	147,662

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	134,575
減価償却費	4,026
のれん償却	2,188
固定資産除却損	291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△51
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	746
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,050
受取利息及び受取配当金	△337
支払利息	56
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,254
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,047
その他流動資産の減少額 (△は増加)	△53,276
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,611
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△4,835
その他	9,506
小計	47,250
利息及び配当金の受取額	337
法人税等の還付額	16,020
法人税等の支払額	△4,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	300
現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	59,544
現金及び現金同等物の期首残高	716,017
現金及び現金同等物の期末残高	775,561